

(別紙4(2))

事業所名 さわやかグループホームいいくら

作成日: 平成 30 年 7 月 12 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	16	災害対策	防災マニュアルを整備して、災害対策の手順を確認し、緊急時の対応を行うことになっているが、職員の認識がまだ、不足している状況であった。、西日本豪雨災害にあるように、何時、どんな災害が発生するかもわからないので、日々の意識を高め、災害に備える。	各フロア毎に火災、地震、風水害の発生原因別に誰をどの場所へ誰が誘導するのかの訓練を、月1回の頻度で、日勤帯、夜勤帯別で各職員が避難誘導を繰り返し訓練する。地域の方への合同での取り組みは、運営推進会議にて協力を要請しながら、年2回は行うこと目標に取り組む。	12ヶ月
2	51	日常的な外出支援	前年度に比較して、レクとしての外出頻度も増えているが、日常的な外出として、散歩、買い物同行等での外気浴を行うことを当たり前にしたい。	ケアプランへの落とし込みや地域ボランティアの方の協力を得ながら、日々、誰が散歩へ行くかをスケジュール化することで、外気浴ができるように取り組む。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。